

自治体名	新発田市	自治体コード: 152064
事業名	地域少子化対策重点推進事業	対象経費支出 予定額 ※(注)1 5,675,000 円
実施期間	交付決定日 ~ 令和4年3月31日	
地域の実情と課題 (これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証等から浮かび上がった地域の実情と課題について記述) ※(注)2	<p>○新発田市の地域の実情と課題 人口(R2.9末現在): 96,374人 平成27年10月に「新発田市人口ビジョン」と「しばた魅力創造戦略」を策定し、少子化対策の基本目標として「しばた流「子育て支援サイクル」の確立」を掲げ、「結婚」「出産」「子育て」「教育」のそれぞれのステージに合わせた施策に取り組むこととし、平成24年度から婚活支援事業を開始した。 婚姻率は、平成29年は4.5、平成30年は4.1、令和元年は4.0であり、人口同規模市と比較しても高いレベルであるものの、「婚姻年齢の上昇」、「有配偶者率の低下」が実情であった。また、依然として「未婚者の7割が出会いを求めている」との実情をふまえ、結婚を希望する独身男女へ理想とする結婚の希望をかなえ、婚姻数を維持するために本事業を継続して取り組んでいる。 住宅支援策の波及効果で人口の社会減のスピードはゆるやかではあるものの、年々進む自然減が大きな課題である。 これまでの結婚の希望を叶える取組に加え、若年層への理想とするライフデザインの提案や経済的理由で結婚に踏み切れない人への支援を加え、より総合的な視点で取組を強化する。</p> <p>○隣接する地域(定住自立圏)の実情と課題 ・胎内市 人口(R2.9末現在): 28,581人 婚姻率は、平成29年は3.8、平成30年は3.4、令和元年は3.3と人口同規模市と比較すると高いレベルであるものの、「出会いがない」「結婚に消極的」という若い世代が多い。平成26年度から婚活支援事業を実施していたが、単独開催となると経費負担と事業参加者の集客が課題となっていた。 人口は、自然減と社会減が続いている。</p> <p>・聖籠町 人口(R2.9末現在): 14,242人 婚姻率は、平成29年は3.9、平成30年は4.2、令和元年は4.1と県内でも高いレベルである。出会いを求める声、婚活支援へのニーズが高まるものの、経費負担や集客が課題で単独開催ができない状況であった。 人口動態は多くの自治体で自然減、社会減が生じる中近年均衡を保っている。(2009~2018の10年間で210人の社会増、33人の自然減)</p>	
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け ※(注)3	<p>「しばた魅力創造戦略」における「しばた流「子育て支援サイクル」の確立」として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚の希望をかなえる ・安心して妊娠・出産できる支援の充実 ・安心して楽しく子育てできる環境づくり ・子育てしながら働き続けられる環境の整備 ・未来を担う「しばたっ子」の育成 <p>を掲げており、本事業のうち、結婚支援に係るものについては、上記の中の「結婚の希望をかなえる」に位置付けられており、「結婚を希望する独身男女へ理想とするライフデザインの提案」、「独身男女への出会いの場の提供」、「カップル誕生から結婚までの支援」という切れ目のない支援に取り組んでいる。</p> <p>また、新発田市と隣接する胎内市及び聖籠町と平成28年10月に定住自立圏協定を締結し、平成29年度から3市町連携事業の一つとして広域的な婚活支援事業を実施している。 定住自立圏構想の目的は、複数自治体が一つの圏域として必要な生活機能を確保・維持し続けることであり、3市町で連携して婚活支援事業を実施することにより、対象地域が拡大されて交流人口が増加するスケールメリットだけでなく、経費を負担し合うことで低予算で単独自治体では実施できない事業やバラエティに富んだ事業を実施し、結婚を希望する独身男女及びその家族が求める多様化するニーズに対応し、圏域内の独身男女の未婚化・晩婚化に歯止めをかけることを目指す。</p>	
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標※(注)4	<p>○新発田市 「第2期しばた魅力創造戦略」における子育てのKPIは次のとおり。 ・合計特殊出生率:(基準値)1.38 (目標値)1.54 ・子育てしやすいまちだと感じている保護者の割合:(基準値)55.1% (目標値)60%</p> <p>○胎内市 「第2期胎内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における子育て環境のKPIは次のとおり。 ・合計特殊出生率:(基準値)1.41 (目標値)1.58 ・「子育て環境が良い」と感じる人の割合:(基準値)40.6% (目標値)50.0%</p> <p>○聖籠町 「第2期聖籠町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における結婚・出産・子育ての希望をかなえるKPIは次のとおり。 ・婚活イベントにおける平均カップル率:(基準値)38% (目標値)42% ・ハッピーパートナー企業登録数:(基準値)7社 (目標値)20社</p>	

参考指標 ※(注)5	直近の実績		備考(統計時点等)	
	合計特殊出生率	1.47	令和元年度福祉保健年報(平成30年度版)	
	婚姻件数	395	令和元年度福祉保健年報(平成30年度版)	
	婚姻率	4.1	令和元年度福祉保健年報(平成30年度版)	
事業内容	1 重点支援事業		対象経費 支出予定額	0 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	2 優良事例の横展開支援事業		対象経費 支出予定額	3,275,000 円
	(1) 結婚に対する取組		対象経費 支出予定額	2,945,000 円
	個別事業名	新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏婚活支援事業	対象経費 支出予定額	2,945,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	(2) 結婚・妊娠・出産・乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運の醸成の取組		対象経費 支出予定額	330,000 円
	個別事業名	中高生向けライフデザイン講座	対象経費 支出予定額	330,000 円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	個別事業名		対象経費 支出予定額	円
	3 結婚新生活支援事業		対象経費 支出予定額	2,400,000 円
個別事業名	結婚新生活支援補助金			
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無※(注)6	無			

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。

2「地域の実情と課題」には、これまでの自治体における少子化対策の取組全体及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情と課題について記載すること。

3「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付け」には、地域の実情及び課題を踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本事業の位置付けを記載すること。特に、本事業により、地域の課題がどのように解決されるかについて記載すること。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、地域の実情及び課題を踏まえ設定した、自治体の少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和3年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率等を記載するとともに、必要に応じて、その推移を報告すること。

6「上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無」は、地域少子化対策重点推進交付金との重複を排除するためのチェック欄です。「無」が前提となります。

7 適宜参考となる資料を添付すること。